

大雪山の素顔

だいせつざんのすがお

このコーナーでは、山岳ガイド、旭岳ビジターセンター、自然解説員など旭岳で活躍する人たちをリレーして、季節とともに変化する旭岳の旬のお便りをお届けします。

高山植物、紅葉、雪、動物など「自然の大博物館」と言われる大雪山の素顔が見えてくることでしょう。



白鳥の雪渓
(旭岳北面の残雪)

真夏の山を歩きませんか！

子ども達も夏休みのさなか、最も暑い8月の初めは、登山にも適したシーズンです。

天候は比較的安定、7月初めの観光シーズンも一段落、青（ミヤマリンドウ・エゾオヤマノリンドウ）や黄（ミヤマアキノキリンソウ）の花が開き、アカトンボも飛び始めます。

8月も半ばともなると、多くの秋の実りに出会います。町の中心地からわずか30kmほどで別世界が見える、といえるかもしれません。

最高峰を含め道内標高ベスト10中8つ（東川単独でも5つ）を抱き、高山植物の花々や噴気などの火山活動を手軽・間近に見られるように『山の町』と言っても良い特長をもつ東川ですが、自然を荒らすことの少ない、まだ眠っている様々な可能性を見出し、活かしていくには、まずこうした時期によく歩き、この山のありようをしっかりとつかみ、家族や友人や外からのお客様さんに安全な楽しみ方を伝えられる人が一人でも多くなることではないでしょうか。



裾合平の自然が作った
『田んぼ』

旭岳ビジターセンター 菊地 基

旭岳ビジターセンター「しぜんあんない」

開催日時 毎日 午後1時30分～

場 所 東川町勇駒別 旭岳ビジターセンター ☎97-2153

内 容 探勝路などセンター周辺を30分から1時間半くらい歩き、館員が旭岳の動植物などの説明を行います。

参加料 300円

その他 事前予約をお願いします。(コース・時間等の相談をいたします)

短歌

遠く住む嫁も短歌を学ぶとふ歌友として共に励まん

短歌の師は歌詠むこころ説き給ふ縁そよげる丘に集ひて

玻璃戸打つ風も厨の湯の音も何あらぬ吾の伴せの音

あれやこれ揃えて造る旅支度小さき写真真は道づれにして

在るがまま生きよと説きし僧の声心にとどくつなずきて

目覚めぎわ浮かんだ歌のすばらしき起きれば何処かに消えてなくなり

本日は母の命日やがて来る自分を思い病院へと急ぐ

我が在りし四十余年はうたかたよ忠別夕曇は水滴たしをり

寂寥は日毎深まり流れゆき夕映えの岡に一人たたずむ

川辺りを素足のままにあゆみゆく話すともなき野の花ありき

日の永き水無月なるに病院の夜明けは遅く今日も雨降り

満開の桜に酔いし姉妹戦中歌も涙流しつ

河原にはそこだけに通る捷あり地蔵に似たる石をみつける

鳥にも行かすなまけているうちに菲は花咲きネギは坊主に

俳句

わさび田の水清冽に半夏生

帰省の子地球の裏から手ぶらなり

鮭めしの程良い加減郷里の味

群れ飛ぶはゴツホの鳥か麦の秋

吊り鉢の喜雨なりしや夜明け前

アスファルト喜雨にあたりたるひとつふたつ

閑かなる慰霊の森や合歓の花

一魂にささげし今日の白き薔薇

雨上り麦秋の丘に吾しばし

棚深くいまだ香れる小瓶あり

天上も恋を羨やむ麦の秋

青野公花 松山蓉子 杉山ひろのり 秋山深雪 小林露葉 澤田久美子 杉山りつ 徳光吐苦 山口佐知子 山口宏 石澤清宏 宮坂紫雲

尾池真沙子 井山一文 嶋崎三子 松倉和子 宮坂敬子 中田治子 矢沢ますえ 清水チヨ 岩田ふじえ 永江栄子 笹田富士子 岡澤チズ子 瓜生昭枝 那須喜美